

かけ声にあわせ目標物に向かって放水する消防団員たち。彼らを静かに見つめるのは、新富町消防団団長の宮脇国宏（みやわきくにひろ）さんです。身長180センチメートル超え、ガツチリとした体格で貫禄十分ですが、ニコツと笑った笑顔からは愛嬌があふれ人当たりのよさが伺えます。

消防団の活動は多岐にわたります。火災に備えた訓練、現場の消火活動のほか、火災予防の啓発、大規模災害時の活動なども行います。有事の際に町民の生命財産を守るよう、そして町を盛り立てるため、4分団16部258名の新富町消防団員をまとめているのが宮脇さんです。

地元の先輩に勧誘され、宮脇さんが入団したのは22歳の時。勝手がわからないうちは大変でしたが、慣れてくると得るものが多いことに気づいたといいます。

「消防団は異業種の人々が集まる団体です。普段なら出会わない人と交



いま新富町のこの人が気になる

SHINTOMI-JIN

#009 今月の新富人



新富町消防団団長 宮脇国宏さん

●新富町消防団の団員を募集
中。18歳以上で新富町在住・在
勤、性別は問いません。
図総務課 ☎33・6061

流でき、自分の人間としての器が広がりましたね」
その後、所属する第12部（江梅瀬・横江・軍瀬）の部長となった宮脇さん。部長を務めた2年間は、部長会のメンバーに恵まれ、のちに幹部となるきっかけを得たそうです。分団長を4年、副団長を8年務めたのち、2019年4月から団長に就任しました。



切さを痛感。日頃から訓練や研修を重ねることで、団員のスキルアップに取り組み、自然災害に強い組織を目指したいと語ります。

「各部を指導する分団長や副団長に支えられ、今の消防団は組織としてより強力になってい

ると思います。先代から受け継いだ伝統ある消防団を、しっかりと守っていききたいですね。理解し協力してくれる家族にも感謝です」

時代に合わせて、新しい組織づくりにも取り組んでいます。

令和3年4月から女性部が設置される予定で、ラッパ隊とともに、女性の活躍が期待されています。さらに、消防団OBの経験を活かした機能別団員制度も導入され、柔軟な消防団活動が可能になります。

1971年、新富町生まれ。1993年に新富町消防団に入団。分団長、副団長を経て、2019年4月より団長を務める。ミニバレーやアジ釣りが趣味で、サビキ（釣りの仕掛け）は自家製のものが50本ほどもある。本業は肥料や農薬など農業用資材の販売。

「性別に関わらず、さまざま出会いを通じて、いい人間形成の場になると思うので、ぜひ消防団に入団して、一緒に新富を盛り上げていきませんか？」